

平成 29 年 5 月 11 日

第 89 回

感染症健康危険情報評価検討会および

生物学的製剤に由来する感染症情報収集検討委員会 報告

平成 29 年 4 月 5 日から平成 29 年 5 月 10 日までの間に収集された情報について、平成 29 年 5 月 11 日に上記委員会を開催し検討した結果、別紙の情報 4 件について注意喚起のため、関係部署に対し情報提供が必要であると判断した。

(生物学的製剤に由来する感染症情報収集事務局まとめ)

雑誌名 (巻・号)	JID
ページ	Epub ahead of print, 2017 Feb 7
論文タイトル	A CLUSTER OF FATAL TICK-BORNE ENCEPHALITIS VIRUS INFECTION IN ORGAN TRANSPLANT SETTING
(和訳)	臓器移植に関連するダニ媒介性脳炎感染症患者の流行
著者	Dariusz Lipowski et al.
要旨	ポーランド北部で交通事故による死亡者から採取された臓器を移植された3名の患者（2名が腎臓移植を受けた患者で、もう一人が肝臓移植を受けた患者）が脳炎で死亡した。次世代シーケンス法等で脳組織等のサンプルについて病原体特定の検査を実施したところ、3人全ておよび臓器提供者の検体からダニ媒介性脳炎ウイルスが検出された。ダニ媒介性脳炎ウイルスによる臓器移植関連感染症としては世界で初めての報告となる。
コメント	日本（北海道）でもダニ媒介性脳炎患者が報告されている。臓器移植関連ウイルス感染症としては、これまで狂犬病ウイルス、リンパ球脈絡髄膜炎ウイルスによるものが報告されているが、ダニ媒介性脳炎ウイルスについても注意喚起が必要であると考えられる。
評価	B (参考情報/本省報告)